

カトマンズ盆地の天然ガス

名 取 博 夫 (燃 料 部)
Hiro'o NATORI

滝 沢 文 教 (地 質 部)
Fuminori TAKIZAWA

永 田 松 三 ・ 本 島 公 司 (技 術 部)
Shozo NAGATA Koji MOTOKIWA

ネパール王国の首都 カトマンズには多数のガス街が知られている。

この度の調査により このガスは 第四紀の陸水成堆積物中に
胚胎する水溶性可燃性天然ガスであり 民生用燃料ガスとして

の開発に 充分耐え得るものであることが明らかになった。
ひっ迫する燃料事情と 都市化の流れを背景にして 天然ガス
資源に寄せる地元住民と ネパール政府の期待はきわめて大き
い。(本文参照)

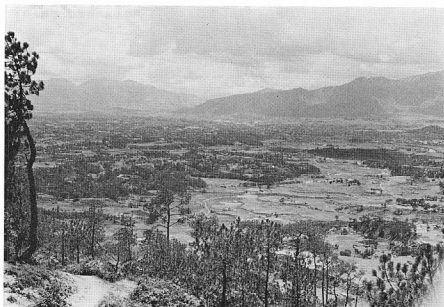


写真1
カトマンズ盆地北部の
シワプリー山中腹より南
西を望む 中央左寄
りにカトマンズ市がか
すむ 天然ガスは
平野部を構成する第四
紀の陸水成堆積物中に
胚胎する

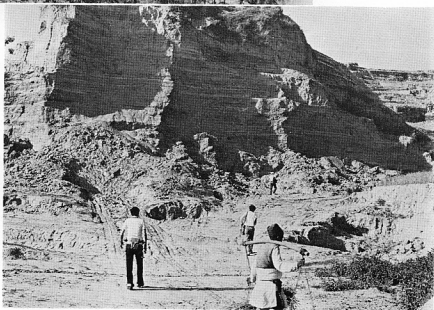


写真2
第四紀湖成堆積物中の
細粒砂 勝ち砂泥互層
レンガ原料として採掘
される この崖から
採取した炭素質粘土の
分析値は 充分なガス
発生能力と低度の石油
発生能力を示す

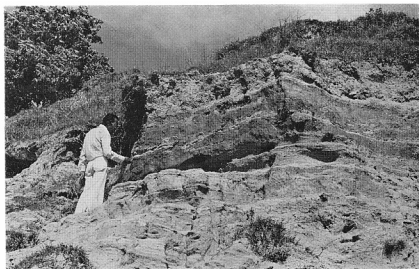


写真3
炭素質粘土をはさむ沖積はん乱
原成礫質砂層 炭素質粘土は
ガス母層となり 礫質砂層は水
溶性ガスの重要な貯留層となる

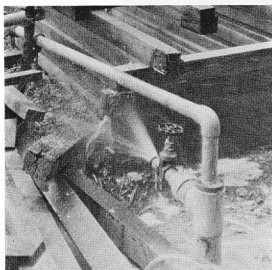


写真4
自噴するガスおよ
び付随水



写真5
分析用ガス試料を
採集中のネパール
鉱山地質局
Mr. S. K. GIRI
および指導中の本
島技官



写真6
ガス付随水の
pH測定



写真7
付随水中の溶存ガスを
分析する永田技官



写真8
自噴井の坑口に点火テスト
中の鉱山地質局 Mr. G.
S. THAPA (左) および
Mr. P. R. STHAPIT



写真9
点火された坑口 火炎
に注意

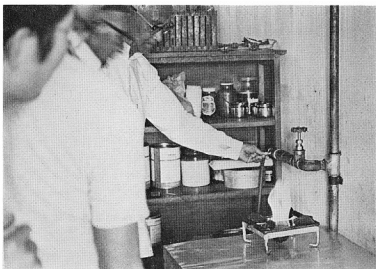


写真10
炊事に利用され
ている水溶性天然ガス



写真11
カトマンズ最大の
水溶性ガス用タンク

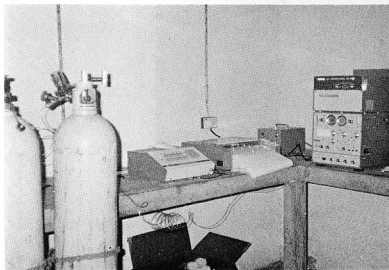


写真12
日本山
本製
ガス分
析器
から
地質
ガス
分析
用ニ
ルマ
とマ
ット
とグ
ロウ
供給
に用
され
タラ